

令和6年度足立区地域包括ケアシステム推進会議
第2回認知症施策推進部会

日時：令和6年11月1日(金)

午前10時～午後12時

場所：足立区役所中央館4階

401会議室

議長：栗田部会長

会 議 次 第

1 開 会

2 協議事項

(1) 令和7年度認知症検診事業について

ア 複合介入型はつらつ高齢者促進事業について

資料1

イ 認知症検診事業について

資料2

(2) 認知症ケアパス改訂について

資料3－1

資料3－2

3 報告事項

(1) 令和6年度認知症月間の取り組みについて

資料4

(2) 足立区のチームオレンジについて

4 その他

5 閉 会

令和6年度 足立区地域包括ケアシステム推進会議
認知症施策推進部会 部会員名簿

(順不同 敬称略)

令和6年10月24日時点

番号	役職	氏 名	フリガナ	選出団体名・所属における役職 等
1	部会長	栗田 主一	アヲタ シュイチ	学識経験者
2	副部会長	白川 泰之	シラカワ ヤスヒキ	学識経験者
3	委員	内山 真	ウチヤマ マコト	足立区医師会 理事
4	委員	塩谷 総吾	シオタニ ソウゴ	足立区介護サービス事業者連絡協議会 副会長（訪問介護部会部会長）
5	委員	羽田 雅代	ハツタ マサヨ	足立区介護サービス事業者連絡協議会 副会長（訪問看護部会部会長）
6	委員	小島 直樹	コジマ ナキ	足立区高齢者福祉施設連絡協議会 会長
7	委員	鈴木 勉	スズキ ツトム	足立区介護老人保健施設事務長会（レーベンハウス事務長）
8	委員	谷 将之	タニ マサヒキ	東京都認知症疾患医療センター センター長
9	委員	大竹 吉男	オオタケ ヨシオ	足立区ボランティア連合会 会長

複合介入型はつらつ高齢者促進事業

LINEを入口としたICTを活用し、より多くの高齢者が時間や場所等の制限なく、認知症予防・介護予防に取組める環境を整備するとともに、一人ひとりの活動記録を蓄積・見える化するデジタルプラットフォームを構築する。

1 高齢者が安全かつ参加しやすい仕組み

令和8年度
目標登録者数 **7,000名**

- (1) **新たな足立区のLINE公式アカウント**を開設。LINEのお友達登録と簡単なID登録だけで利用可能
- (2) 専用アプリのインストール等は不要で、**高齢者にも参加しやすく、分かりやすい操作性**を追求
 - ※ LINEの普及率は60代で約8割、70代でも約7割(2023年一般向けモバイル動向調査より)
- (3) LINEはトリガー(入口)機能とし、**個人の活動履歴等の情報はLINE上には保存されない安全な仕組み**



2 時間や場所等に縛られない、自分に合った取組を促進

～スマホを使っていなくても・どこでも・誰とでも・お一人でも・何回でも～

(1) J-MCI

- ア **日本老年精神医学会考案の認知症リスク早期発見プログラム**
- イ 本人や家族(医療関係者等の第三者も可)が13の質問に答えることで、認知症のリスクを判定できる新たな評価尺度を採用
- ウ **自治体で本格実装されるのは全国初の取組**
- エ ライセンスフリーとし、**事業対象者(65歳以上)に限らず、若年層も含めた普及啓発に活用**
- オ 認知症リスクが疑われる場合は、地域包括支援センターや医療機関、認知症検診事業等、専門機関による既存の支援スキームにつなぐ

令和8年度
J-MCI目標実施者数 **4,000名**



認知症リスク
疑いあり

(2) 暮らしの脳トレ

- ア 高齢者が苦手となる**日常生活課題**をテーマにした生活実践脳トレ
- イ 日常生活に必要な短期記憶力、視空間認知力、注意力、推論力を鍛える
- ウ 問題数は**1,000問以上**



(3) オンライン介護予防プログラム

令和8年度
目標実施者数 **2,000名**

- ア 運動・脳トレ・美術・音楽・口腔体操等**400種類以上の豊富なメニュー**
- イ 各分野の専門講師によるわかりやすいプログラム内容
- ウ 個人利用に限らず、地域の通いの場での活用や教室型事業のカリキュラムの一部に組み込む等、**他事業へも柔軟に展開予定**
- エ 2種類の配信方法
- ① パッケージ配信型(約30分間/回)
 - 体操や芸術、脳トレ等の異なるジャンルの映像を組み合わせた複合介入プログラムを定期的にプッシュ配信**
 - ② メニュー配信型
 - 全映像プログラムを体系化・メニュー化し、自ら映像を選んで取り組める

(4) デジタルスタンプラリー

区内の名所旧跡等を巡るデジタルスタンプラリーやウォーキングイベント等に活用予定

はつらつ測定会

- (1) **「体力」&「認知機能」のW測定会**
- (2) 参加費無料
- (3) 予約不要
- (4) 会場・曜日固定の定期開催を予定 (原則毎月、全地域学習センター)
- (5) 測定結果(経過記録)はマイページに反映 ※ ID登録者のみ



**プッシュ通知で
定期的な測定を促す**

前回の測定からの経過期間や
活動状況に応じて、プッシュ通知で
はつらつ測定会への参加を案内



(コグニトラックス)

研究実績が豊富で認知症臨床医が監修しているデジタル実測ツール。測定内容は、高齢者の日常生活に必要な「記憶力」「注意力」「運動速度」。
今回足立区が導入する「Cognitrax for citizen」は、普及版のCognitraxをベースに一般社団法人MCIリングが提供する自治体向けの特別版。

認知症リスク疑いあり

3 デジタル化によるデータ管理(デジタルプラットフォーム)と事業効率の向上

- (1) API連携により、**日々の活動記録や事業参加者の出欠管理、測定結果等は、データベースにリアルタイムで反映**する仕組みとする
- (2) 参加者名簿の管理や測定結果の入力をデジタル化することで、**従来の対面型事業の良さも活かしながら人件費の削減や測定時間の短縮等、事業効率向上をめざす**
- (3) 事業参加者の日々の活動状況や測定結果等の**情報を蓄積・見える化し、事業の効果検証にも活用**する

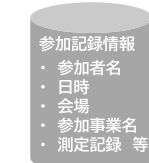
事業参加時に二次元コード読み
または
オンラインコンテンツを利用

データベースに情報が
自動で転送・蓄積される

個人のスマホにも
情報が反映される



参加者名簿の管理や測定データ
の入力・集計等の作業は不要



データベース



グラフや表で視覚化された
日々の活動履歴や測定結果は
マイページで確認可能

令和8年度成果指標

70・80歳代の事業参加群と非参加群における新規要支援・要介護認定者の割合を比較

4 利用促進に向けた取組

(1) 大抽選会

- ア ID登録者を対象に、大抽選会を実施
- イ **日頃の活動量に応じて当選確率をUP**



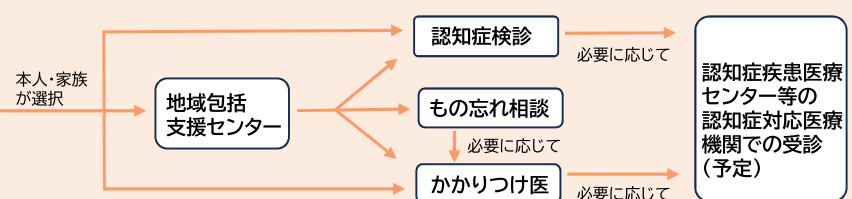
(2) スマホ関連事業

- ア 登録サポート会
- (ア) **ID登録のサポート、利用方法の解説**
- (イ) 120回実施予定(5回/月×24か月)
- イ はつらつ事業参加用スマホの無償貸与(100台)
- (ア) スマホを持っていない**事業参加希望の高齢者に最長2年間無償で貸与**
- ※ 特殊詐欺被害や悪用リスクへの対策として電話機能は制限
- (イ) 毎月の通信費込み(MDM設定あり)
- (ウ) 貸与者向けスマホ講座あり(5回程度/2年間)
- ウ スマホよろず相談

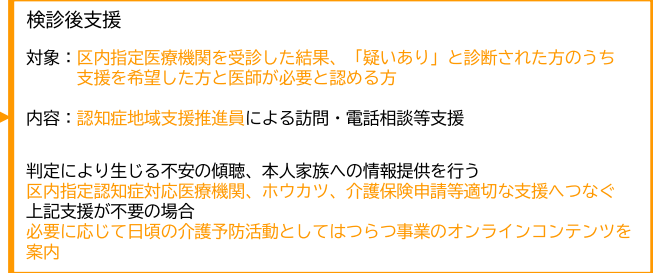
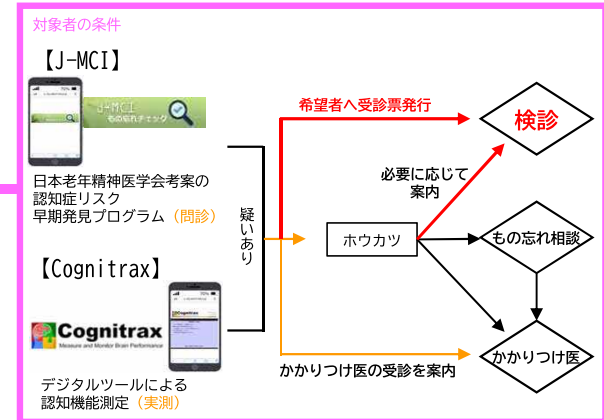
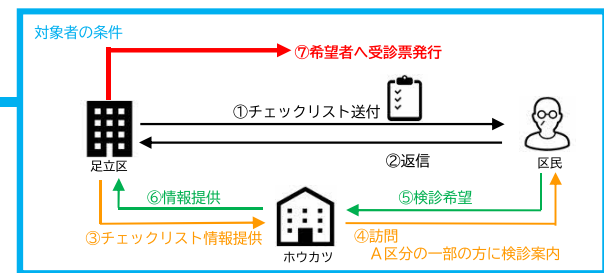
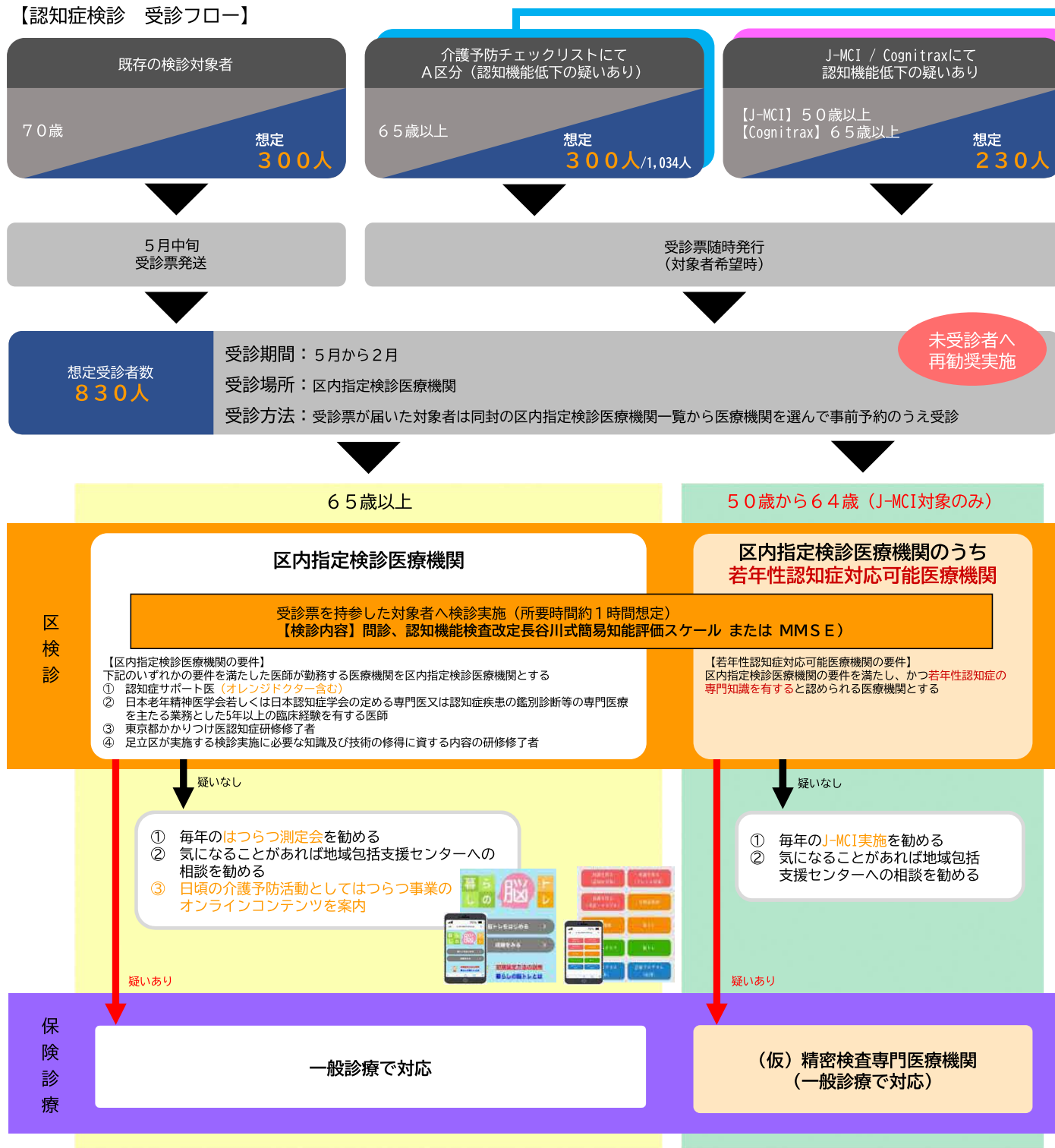


ID登録者を対象に、スマホに関する疑問や相談に個別対応

認知症リスクの疑いがある場合、専門機関や既存の支援スキームにつなぐ



【認知症検診 受診フロー】

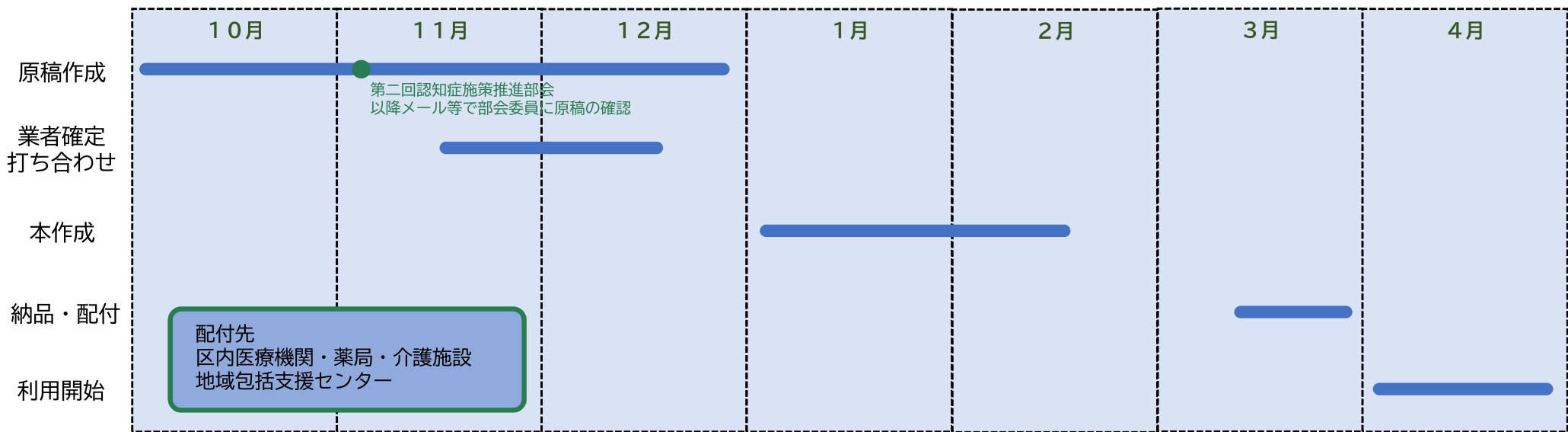
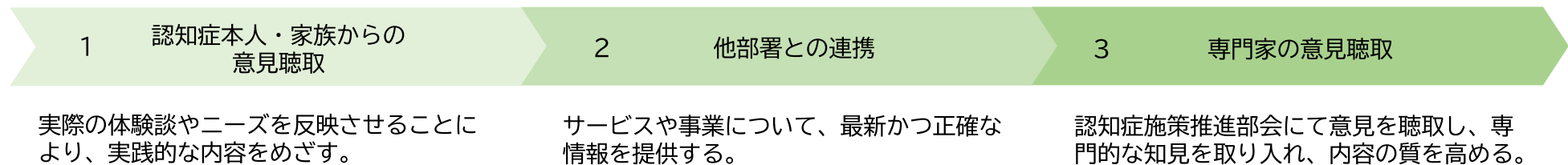


認知症ケアパスの改訂

改訂後の認知症ケアパス（案）

- 1 **情報の充実**
困った際の支援・相談先、認知症についての正しい知識、認知症になっても元気に暮らす方たちの紹介など、多角的な情報を提供
- 2 **適切な支援を必要な方へ**
認知症の方々とその家族が、必要な支援やサービスにより早く、より適切にアクセスできるようになり、生活の質の向上や介護負担の軽減が期待される
- 3 **分かりやすい構成**
15ページほどの冊子形式で、情報の充実とともに、視覚的にもわかりやすい構成で作成

改訂のプロセス



名 称 (住所)	電話番号	担 当 地 域
基 幹 梅島2-1-20	5 6 8 1 - 3 3 7 3	梅島、中央本町1丁目、島根
あだち 足立4-13-22	3 8 8 0 - 8 1 5 5	足立、中央本町2丁目、梅田1丁目
伊 興 伊興3-7-4	5 8 3 7 - 1 2 8 0	伊興、東伊興、伊興本町、西伊興、西竹の塚
入 谷 入谷9-15-18	3 8 5 5 - 6 3 6 2	入谷、舎人、古千谷、古千谷本町
扇 扇1-52-23	3 8 5 6 - 7 0 0 7	扇、興野、本木東町、本木西町、本木南町、 本木北町
江 北 江北3-14-1	5 8 3 9 - 3 6 4 0	江北、堀之内
さ の 佐野2-30-12	5 6 8 2 - 0 1 5 7	加平、北加平町、神明、神明南、辰沼、六木、佐野、 大谷田2～5丁目
鹿 浜 皿沼2-8-8	5 8 3 8 - 0 8 2 5	鹿浜、加賀、皿沼、谷在家、椿
新 田 新田3-4-10	3 9 2 7 - 7 2 8 8	新田、宮城、小台
関 原 関原2-10-10	3 8 8 9 - 1 4 8 7	梅田2～8丁目
千住西 千住中居町10-10	5 2 4 4 - 0 2 4 8	千住桜木、千住緑町、千住龍田町、千住中居町、 千住宮元町、千住仲町、千住河原町、千住橋戸町
千寿の郷 柳原1-25-15	3 8 8 1 - 1 6 9 1	柳原、千住関屋町、千住曙町、千住東1丁目
千住本町 千住3-7-101	3 8 8 8 - 1 5 1 0	千住、千住元町、千住大川町、千住寿町、 千住柳町
中央本町 中央本町4-14-20	3 8 5 2 - 0 0 0 6	中央本町3～5丁目、青井1・3～6丁目、西加平
東 和 東和4-7-23	5 6 1 3 - 1 2 0 0	綾瀬、東綾瀬、谷中、東和1・3丁目
中 川 中川4-2-14	3 6 0 5 - 4 9 8 5	東和2・4・5丁目、中川、大谷田1丁目
西綾瀬 西綾瀬3-2-1	5 6 8 1 - 7 6 5 0	西綾瀬、弘道、青井2丁目
西新井 西新井2-5-5	3 8 9 8 - 8 3 9 1	西新井、栗原
西新井本町 西新井本町2-23-1	3 8 5 6 - 6 5 1 1	西新井本町、西新井栄町
はなはた 花畑4-39-11	3 8 8 3 - 0 0 4 8	花畑、南花畑5丁目
一ツ家 一ツ家4-2-15	3 8 5 0 - 0 3 0 0	平野、一ツ家、保塚町、六町、南花畑1～4丁目
日の出 日ノ出町27-4-112	3 8 7 0 - 1 1 8 4	日ノ出町、千住旭町、千住東2丁目
保木間 保木間5-23-20	3 8 5 9 - 3 9 6 5	西保木間、保木間、東保木間
本木関原 本木1-4-10	5 8 4 5 - 3 3 3 0	関原、本木
六 月 六月1-6-1	5 2 4 2 - 0 3 0 2	六月、東六月町、竹の塚

足立区認知症ケアパス（案）

～目次～

- 1 認知症の進行と周囲の支援・・・・・・・・・・P1～2
- 2 自分でできる気づきのチェックリスト・・・・P3～4
- 3 サービスや支援の内容

A 相談・窓口・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5

B 交流の場・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6

C 地域の見守り・・・・・・・・・・・・・・・・P7

D 権利擁護・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8

E 介護保険・・・・・・・・・・・・・・・・・・P9～10

F 若年性認知症の方へ・・・・・・・・・・P11
- 4 一足先に認知症になった私からみなさんへ・・・P12
- 5 足立区地域包括支援センター一覧・・・・・・・P13

認知症の進行と周囲の支援

あれ？ 認知症かな？		認知症の症状はあるが、誰かが注意していれば、一人で生活を送れる	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
まずは「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」（P3～4）で確認してみましょう！		☐ たびたび道に迷う ☐ 買い物や事務作業でミスが目立つ ☐ 金銭・服薬管理ができない ☐ 留守番ができない	☐ 着替え、食事、排泄に時間がかかる ☐ 物を口に入れる行動が増える ☐ 失禁することがある ☐ 大声や奇声を上げることがある	☐ 着替え、食事、排泄が常に一人でできない ☐ 失禁が増える ☐ 大声や奇声を上げることが多い ☐ せん妄や妄想が現れる
イラスト		イラスト	イラスト	イラスト
A 相談・窓口 【P ～】	①地域包括支援センター ②東京都認知症疾患医療センター			
	③もの忘れ相談			
B 交流の場 【P ～】				
	④認知症カフェ ⑤認知症本人・家族の会 ⑥本人ミーティング			
C 地域の見守り 【P ～】				
	⑦認知症サポーター ⑧民生・児童委員 ⑨絆のあんしん協力機関			
D 権利擁護 【P ～】				
	⑩権利擁護センターあだち			
E 介護保険 【P6～】	訪問	⑪訪問介護 ⑫訪問リハビリテーション ⑬居宅療養管理指導 ⑭訪問看護		
	通い	⑮デイサービス ⑯デイケア ⑰認知症対応型通所介護		
	泊り	⑱ショートステイ ⑲医療型ショートステイ		
	入所	⑳グループホーム ㉑介護老人保健施設 ㉒介護医療院		
		㉓特別養護老人ホーム		
	在宅	㉔住宅改修		
F 若年性認知症の方へ 【P ～】				
		㉕若年性認知症本人・家族交流会 ㉖東京都若年性認知症総合支援センター		

自分でできる気づきのチェックリスト

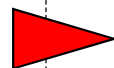
①財布や鍵など、物を置いた場所が分からなくなることがありますか 	まったくない 	ときどきある 	頻繁にある 	いつもそうだ 
②5分前に聞いた話を思い出せないことがありますか 	まったくない 	ときどきある 	頻繁にある 	いつもそうだ 
③周りの人から「いつも同じ事を聞く」などのもの忘れがあるとされますか 	まったくない 	ときどきある 	頻繁にある 	いつもそうだ 
④今日から何月何日かわからない時がありますか 	まったくない 	ときどきある 	頻繁にある 	いつもそうだ 
⑤言おうとしている言葉がすぐに出てこないことがありますか 	まったくない 	ときどきある 	頻繁にある 	いつもそうだ 

「もしかすると認知症かな？」と気になり始めたら、チェックしてみましょう。
※ご家族や身近な方が代わりにチェックすることもできます。

⑥貯金の出し入れや、家賃や公共料金の支払いは一人でできますか 	まったくない 	ときどきある 	頻繁にある 	いつもそうだ 
⑦一人で買い物に行けますか 	まったくない 	ときどきある 	頻繁にある 	いつもそうだ 
⑧バスや電車、自家用車などを使って一人で外出できますか 	まったくない 	ときどきある 	頻繁にある 	いつもそうだ 
⑨自分で掃除機やほうきを使って掃除ができますか 	まったくない 	ときどきある 	頻繁にある 	いつもそうだ 
⑩電話番号を調べて電話をかけることができますか 	まったくない 	ときどきある 	頻繁にある 	いつもそうだ 

チェックしたら、①～⑩の合計点を計算▷合計点

点



20点以上の場合は、認知機能や社会生活に支障が出ている可能性があります。お近くの地域包括支援センター（P13）やかかりつけ医に相談してみましょう。

A 相談・窓口

①地域包括支援センター

地域包括支援センターとは、65歳からの健康や介護に関するさまざまな相談を受け付ける窓口です。窓口相談だけでなく、地域を回り、ご自宅への訪問も可能です。相談は無料のため、悩みの大きさに関わらずご相談ください。まずは、本誌の裏表紙（P13）からお近くの地域包括支援センターを確認してください。

窓口が
あります。
ハウカツは、
2つの

イラスト

センターでお待ちしています。
いつでもご相談ください。相談したいけど、ハウカツまで行けないという方は、ご連絡ください。

イラスト

地域を回っています。
アンケート調査などを基に、地域を回ってご自宅を訪問し、お話を伺っています。お気軽にご相談ください。

②東京都認知症疾患医療センター （大内病院）

問先：大内病院
（TEL：03-5691-0592）

認知症に関する専門知識を有する医師、精神科認定看護師等が配置されています。もの忘れの相談から、認知症の診断、治療、介護保険申請の相談まで、認知症に関する支援を提供しています。

二次元
コード

③もの忘れ相談

問先：地域包括支援センター

認知症やもの忘れに不安を持つ方を対象に、医師による相談を地域包括支援センターで実施しています。「最近もの忘れが多い」「急に性格が変わった」など、ご自身のこと・ご家族のことが心配な方、病院に行くことに抵抗がある方は、お気軽にご利用ください。

下のQRコードから、直近の開催予定日の確認ができます。

二次元
コード

B 本人・家族同士の交流の場

④認知症カフェ

問先：地域包括支援センター

認知症の方やその家族、または認知症に関心がある人等が、カフェのようにお茶を飲みながら気軽に交流する場です。足立区では、25か所の地域包括支援センターで毎月行っています。

写真

⑤認知症本人・家族の会

問先：大内病院
（TEL：03-5691-0592）

日ごろ気になっていることや悩みなどを同じ立場の人と語り合う場です。語ることでほっとできたり、良いヒントが見つかるかもしれません。認知症専門家からのミニ講座も行っています。

写真

二次元
コード

⑥本人ミーティング

問先：地域包括支援センター

認知症と診断された方が集まり、自らの体験や希望、必要としていることを話し合い、自分たちのこれからの暮らしを語る場です。

写真

C 地域の見守り

⑦認知症サポーター

問先：地域包括支援センター

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を区で養成し、認知症高齢者にやさしい地域づくりに取り組んでいます。

認知症サポーター養成講座は地域住民、金融機関やスーパーマーケットの従業員、小、中、高等学校の生徒など様々な方向けに実施しています。

写真

二次元
コード

⑧民生・児童委員

問先：福祉管理課民生係
(TEL：03-3880-5870)

厚生労働大臣より委嘱を受けた、安心して気軽に相談できる地域のボランティアであり、生活上の困りごとや不安などの相談に応じます。その相談内容に応じて関係機関へつなぐなど、必要な支援へのパイプ役を担っています。足立区では約500名の民生・児童委員がそれぞれの担当区域で活動しています。

⑨絆のあんしん協力員・協力機関

問先：地域包括支援センター

「絆のあんしん協力員」は区内在住、在勤のボランティア。

「絆のあんしん協力機関」は区内の郵便局、薬局、信用金庫、商店、医療機関などが登録しています。

日常生活や業務活動の中で、高齢者の見守りや声かけを行い、気がかりな高齢者を見かけたら地域包括支援センターに連絡しています。

写真

二次元
コード

D 権利擁護

⑩権利擁護センターあだち

問先：権利擁護センターあだち
(TEL：03-5813-3551)

高齢になったり、障がいを持ったりしても、住み慣れた地域で安心して生活ができることを目的に主に以下に3つの事業を行っています。

高齢者あんしん生活新事業

将来、もしものときに・・・、入院、入所等の保証人になってくれる人はいますか？

この事業はそんな不安を解消するお手伝いをします。ひとり暮らしで親族の支援が受けられない方と事前に契約し、入院・入所時に保証人に準じたお手伝いをします。判断能力の低下や死後の準備など将来直面しうるリスクにも備えます。契約していれば、いざというときに安心できるサービスです。

地域福祉権利擁護事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどによって、必要な福祉サービスを自分の判断で適切に選択・利用することが難しい方を支援する事業です。権利擁護センターあだちの専門員と生活支援員が、定期的に訪問し、福祉サービスを利用するにあたって相談・手続き等のサポートや日常的な金銭管理をお手伝いします。

二次元
コード

成年後見制度

成年後見制度とは高齢や精神上的の障害により判断能力が日十分で、法律行為における意思決定が困難な方について、本人の権利を守るために選任された成年後見人等により、ご本人を法的に支援する制度です。

権利擁護センターあだちでは、制度に関する説明・周知、申立て支援、あだち区民後見人（市民後見人）の養成などを実施しています。

二次元
コード

E 介護保険

○訪問

⑪訪問介護

ホームヘルパーに自宅を訪問してもらい、身体介護や生活援助を受けます。

⑫訪問リハビリテーション

リハビリの専門家に訪問してもらい、自宅でリハビリを受けます。

⑬居宅療養管理指導

医師、歯科医師、薬剤師、歯科衛生士などに訪問してもらい、薬の飲み方や食事など療養上の管理・指導を受けます。

⑭訪問看護

看護師に訪問してもらい、床ずれの手当てや点滴の管理をしてもらいます。

○通い

⑮デイサービス

利用定員19人以上の通所介護施設で、食事や入浴などの介護や機能訓練が日帰りで受けられます。

⑯デイケア

介護老人保健施設や病院・診療所で、日帰りの機能訓練が受けられます。

⑰認知症対応型通所介護

認知症と診断された高齢者が食事・入浴などの介護や支援、機能訓練を日帰りで受けられます。

○泊り

⑱ショートステイ

特別養護老人ホームなどに短期入所して、医療によるケアや介護、機能訓練などが受けられます。

⑲医療型ショートステイ

介護老人保健施設などに短期入所して、医療によるケアや介護、機能訓練などが受けられます。

○入所

⑳グループホーム

認知症と診断された高齢者が共同で生活できる場で、食事・入浴などの介護や支援、機能訓練が受けられます。

㉑介護老人保健施設

病状が安定し、リハビリに重点をおいた介護が必要な方が対象の施設です。医学的な管理のもとで介護や看護、リハビリが受けられます。

㉒介護医療院

常に介護が必要で、自宅では介護ができない方が対象の施設です。食事や入浴など日常生活の介護や健康管理が受けられます。

㉓特別養護老人ホーム

常に介護が必要で、自宅では介護ができない方が対象の施設です。食事や入浴など日常生活の介護や健康管理が受けられます。

○在宅

㉔住宅改修

生活環境を整えるための小規模な住宅改修に対して、要介護区分に関係なく上限20万円まで住宅改修費が支給されます。（自己負担1割～3割）



足立区が発行している介護保険の手引きです。介護保険制度の仕組みや介護保険サービスを利用するための方法を掲載しています。

【置いている場所】
区役所、区民事務所、地域包括支援センター等

F 若年性認知症

㊤若年性認知症本人・家族交流会
(おりがみカフェ)

問先：高齢者地域包括ケア推進課
(TEL：03-3880-5953)

若年性認知症のご本人同士やご本人を支えるご家族同士が、日頃の気になることや悩みなどをゆったりと語り合う場です。その人らしさ、その人のカラーを大切に・・・という思いから「おりがみカフェ」と命名されました。

写真

二次元
コード

㊦東京都若年性認知症総合支援センター

専門の若年性認知症支援コーディネーターが、本人や家族から多岐にわたる相談に対し、ワンストップで対応します。

また、地域包括支援センターや医療機関等の専門機関からの相談については、必要な助言を行うとともに、相互に連携しながら若年性認知症の人への支援を行います。

その他の困りごとの相談

福祉まるごと相談課

高齢・介護・障がい・子育てなど、生活に関する悩みや困りごとを「誰でも・なんでも相談できる福祉窓口」です。ご本人やご家族が抱える課題を受け止め、足立区の関係部署や様々な支援機関とともに、解決策を一緒に考えていきます。

電話：03-5888-4571・03-3880-5705

FAX：03-3880-5714

～一足先に認知症になった私からみなさんへ～

本人

家族

1 取り組みの概要

目 的	早いうちから認知症について正しく知るとともに、区の認知症施策の取り組みについての情報を得るきっかけづくりを行う。
ターゲット	40代から50代の区民
内 容	(1) 認知症に関するパネル展示 (2) 認知症VR体験 (3) 認知症サポーター養成講座のPR (4) 情報発信 (5) 認知症施策アンケート

2 取り組みの詳細

(1) 認知症に関するパネル展示

ア 展示場所・展示期間

足立区役所アトリウム 9月2日(月)～6日(金)

アリオ西新井 9月21日(土)、22日(祝)

イ 展示内容

認知症の予防に関する情報や区の施策(認知症カフェ、おりがみカフェ、もの忘れ相談、あたまの健康度測定、認知症サポーター養成講座等)を紹介

▼区役所アトリウム



▼アリオ西新井



(2) 認知症VR体験

ア 開催場所・日時

アリオ西新井 9月21(土)、22日(祝) 11時から15時

※ 当日10時より整理券配布

イ 内容

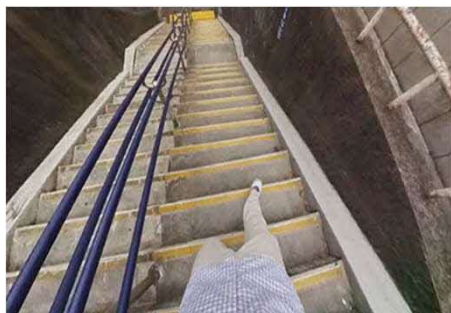
大内病院東京都認知症疾患医療センター及び朝日新聞社の協力により、認知本人の視点から見る日常生活をVRで体験

参加人数 (人)		大人	子ども	合計
	21日(土)	88	26	114
	22日(祝)	101	8	109
	合計	189	34	223



NHK首都圏ニュースでVR体験の様子が放送されました。

体験の内容



【階段を下りる】

空間を把握する認識能力などが低下し、段差が下りづらい感覚を視認できます。認知機能の低下した人が階段などの段差でちゅうちょする理由の一端が理解できます。

【体験者の声】

ひとごとではないと思って体験した。早めに病院に行くことも考えたい。(66歳男性)
階段が見えにくかった。認知症の人を街で見かけたら、声をかけてあげたい。(9歳女兒)

(3) 認知症サポーター養成講座のPR

ア 認知症サポーター養成講座を受け、認知症の方にもやさしい企業として取組んでいる企業を区のホームページで紹介



認知症サポーターのいる企業には「ステッカー」を配付



イ 認知症月間中に開催される、「認知症サポーター養成講座」に参加した方にロバ隊長エコバックをプレゼント

(4) 情報発信

ア 区ホームページに認知症月間特設ページを開設

イ Aメール、X (旧Twitter)、Facebook、LINEなどのSNSで認知症月間の情報を発信

ウ ポスター・リーフレット・啓発三角ポップを区関連施設、医療機関、郵便局等に配付



ポスター



リーフレット



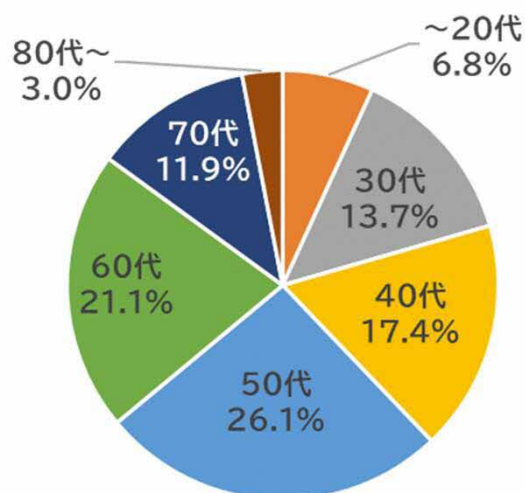
LINE

(5) 認知症施策アンケート

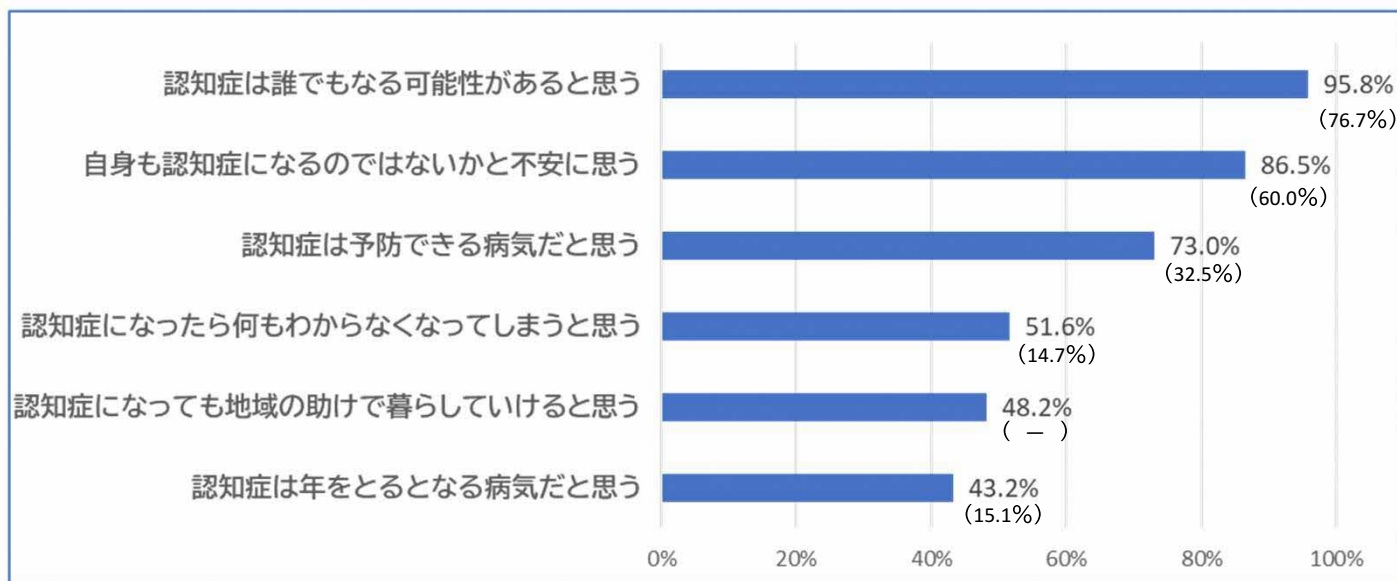
回答者の中から抽選で足立区友好都市の名産品が当たる「認知症施策に関するオンラインアンケート」を実施

期間中の回答者 2,933名

【アンケート参加者の年代】



【認知症に対するイメージ(複数回答可)】 ※下段括弧書きは令和5年度の数値



3 今後に向けて

- (1) 認知症に関わりの少ない世代も含め、認知症を「自分事」としてとらえられるよう、インターネットやSNS等、様々な媒体を活用し、認知症の普及啓発を行う。
- (2) 認知症ご本人やご家族の経験談、認知症との向き合い方など認知症当事者の声を発信できる機会を設け、認知症への理解促進を図る。
- (3) 認知症施策アンケートの結果を分析し、より効果的な認知症の普及啓発や施策の展開を検討していく。